

災害廃について討論会

産廃と環境を考える全国大会

循環功労で18人が表彰

「産業廃棄物と環境を考える全国大会」が10月26日、ホテルニューオータニ(東京・港)で行われた。今大会のテーマは「災害廃棄物の速やかな処理を目指して」。主催は(公社)全国産業廃棄物連合会、(公財)日本産業廃棄物処理振興センター、(公財)産業廃棄物処理振興財団の三団体。後援は環境省、東京都。

初めに全産連の石井邦夫会長があいさつに立ち、3R活動の広がりに伴い、廃棄物処理業への期待も大きくなってきている。今回は皆様にも協力頂いている災害廃棄物処理をテーマとして、課題と今後のあり方について考えた」と述べた。続いて循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰の授賞式が行われた。受賞者は以下の通り(敬称略)。

- ▽庄司肇(青森県)
- ▽荒川純一(山形県)
- ▽清水修身(群馬県)
- ▽漢那清松(千葉県)
- ▽佐野滋美(千葉県)
- ▽古敷谷裕二(神奈川県)
- ▽家村

静江(石川県)▽野村清晴(岐阜県)▽彦坂孝明(愛知県)▽井木宏光(京都府)▽井手保(大阪府)▽青木修一(兵庫県)▽淵上明彦(福岡県)▽岩山頂(熊本県)▽尾方清治(鹿児島県)▽海野博(中央推薦)▽東原記守(中央推薦)▽佐藤俊彦(中央推薦)

環境省廃棄物・リサイクル対策部長の梶原成元氏が「災害廃棄物処理の現状と課題」のテーマで基調講演。同



授賞式の様子

氏は「指定廃棄物の問題を含め震災が起きなど放射線物質で汚染されているさまざまなものなどの処分をさらに進めなければならぬ。まだまだ多くのお願いをするに、ぜひなるが、ぜひ